

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価現地調査実施要領

平成 29 年 7 月 24 日
スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会中間評価部会

1. 目的

中間評価部会（以下「部会」という。）が必要と判断した事業を実施する大学に部会委員が赴き構想責任者等との質疑応答等を行うことにより、当該事業の現状を的確に把握し、評価に資することを目的とする。

2. 実施方法

当該大学より、書面評価及び面接調査結果に基づき部会が事前に示す質問への回答を中心に、事業の取組状況等についての説明を受けるとともに、学生との意見交換、教育現場や施設の視察を行う。

3. 参加者

- 実施者
 - ・部会委員数名（うち1名を主担当委員とする）で編成するグループ
- 大学側
 - ・構想責任者、事業実施担当者
 - ・日本人学生のうち、単位取得を伴う海外留学経験者又は留学予定者（5名程度）
 - ・海外の大学から当該大学に受け入れた外国人留学生（5名程度）
 - ・大学事務局職員（必要に応じて同席）

4. 実施項目とスケジュール例

時間	事項	所要時間	
13:30～13:45	事前打合せ（実施者のみ）	15分	3時間半程度
13:45～14:15	教育現場・施設の視察	30分	
14:15～15:25	学生との意見交換	70分	
15:25～16:35	構想責任者等からの説明・質疑応答 （説明者は、事前に示す質問への回答を含む事業の取組状況等について、別途パワーポイント等で作成した資料により説明）	70分	
16:35～16:55	事後打合せ（実施者のみ）	20分	
16:55～17:00	主担当委員による講評	5分	
17:00	終了	-	

5. 実施後の対応

- (1) 実施者は、現地調査によっても明らかにならなかった点や新たに生じた不明点等がある場合には、必要に応じて大学に対して書面による事情聴取を行うことができる。
- (2) 主担当委員は、現地調査により得られた結果を部会に報告する。